

お客様の生活に寄り添う カントリーの世界

有限会社家具プラザ I.D.F

代表取締役 池田 幸平 さん

住所 〒831-0016 大川市大字酒見761
TEL... 0944-8714022
FAX... 0944-8711782
HP: <http://idf761.com>

今月は(有)家具プラザ I.D.F が創業の池田幸平さんにお話を伺いました。

(有)家具プラザ I.D.F が創業されたのは1996年。現在25期目を迎えられました。「現在、従業員が男性2名、女性2名、パートスタッフが4名います。主にカントリー家具の製造、雑貨も販売を行っています。店内には常時、家具を300〜400点、雑貨を1,000点以上揃えています。おもちゃ箱をひっくり返したような店内で、普段から足を運んでもらえるような色々な楽しみのあるお店にしています」

カントリー家具のことについてもお伺いしました。

「アメリカの開拓時代にコロニアル文化として開拓者の自給自足の生活の中、アメリカの広大な土地で、なにより手軽に利用できるものがパイン材(松)でした。そのパイン材を利用して、家具を作り始めたことが発祥と言われています。パイン材の特徴は、節があることです。好き嫌いはつきり分かれませんが、それが味の一つですね。視線を誘導させる効果があり、リラックサできる空間づくりの一役を担っていると学術的にも証明されています。

カントリー家具は、日本の民芸家具に近いです。当社では、アメリカのカントリー家具を中心に製造や販売を行っています。イギリスやフランスにもカントリー家具があ

り、その国のデザインを取り入れたカントリー家具を多数展示しています。カントリー家具は、昔からそのデザインをほとんど変えることなく、いつの時代にも愛され続けてきました。化学塗料ではないオイルで仕上げることによって、本来、木の持つ風合いや温もり、手触りをそのまま感じることでできる仕上がりが特徴です。他にも、カントリー家具の性質上、年月とともに艶のある飴色へと変化していきます。それは大切にされ続けた家具だけが持つ独特の風合いや色合いです。暮らしの中で積み重ねられるキズや傷みも、年月とともに家具を彩る味わいに変わっていきます。ずっと使い続けることによって、完成品に近づいていく家具





イギリス色の強いカントリー家具

「でも」と父が家具卸を行っています。時代の流れが、少しずつ卸売業が下火になっていくなかで、輸入家具の販売を始めました。当時は輸入住宅やログハウスなどのブーム

もあり、私自身、そういった展示会へ出向いた際に、カントリー家具を目にして、これだ！と思うところがありました。漠然と「2代目だからいつか大川に帰らなきゃならない」とは思っていました。で、大学を卒業するときに、2年だけでいいので、海外を見せて欲しいと父親に頼んでアメリカへ留学しました。2年間は、木材の勉強をしながら、アメリカのほぼ全土を見て回りました。ニューヨークやロサンゼルスのような都会も魅力的ではありませんが、より感銘を受けたのは、田舎町でした。特にカントリー家具の発祥の地と言われているペンシルベニア州ランカスター郡はとても魅力的でした。当時はまだ、自給自足の生活をされていて、電気もガスも通っておらず、夜はキャンドルの明かりを頼りに生活されているようなところでした。例えば、「池田が家を建てるぞ」と言われれば、近所の住民総出で家を建てるようなところでした。そういう土地や暮らしが魅力的に思えたからこそカントリー家具にとっても惹かれたのかもしれないね」

今年には新型コロナウイルス感染症の影響で秋の木工まつ

りが中止となりました。(有)家具プラザI・D・Fでも影響はあったのでしょうか。「中止は残念ではありますが、『ネットde大川木工まつり』の開催に当社も出品します。遠方の方にも知ってもらえるいい機会だと思っています。ネットの情報は、やはりスピードが求められています。こういった機会から自社のHPを見ていただき、『大川にもこんな店があるんだ』と興味を持っていただける、また、実際に大川へ来てもらえる可能性も十分にあると考えています。特に当社はカントリー家具を中心に扱っています。ですから、実際にいろんなところから足を運んでいただいています。また、今現在では親子2代にわたるカントリー家具好きのリピーターも増えてきました。当社で製造したカントリー家具なら、長く使うなかで壊れた場合にも修繕を承っております。親子2代、3代で使うことも十分可能です」

現在は、カントリー家具の製造、販売だけでなく、工務店や建具店とタッグを組み、輸入住宅のリフォームなどにも取り組まれているとのこと。「ドアやキッチンなど住宅設備にもカントリー調を取り入

れられる環境づくりに力を入れています。また、家を建てたけれど、庭はそのままという住宅も多かったので、最近ではガーデンメーカーとタッグを組んで、住宅に合わせた庭の提案も行っていますね」

他にも年に4回以上のイベントやDIYが楽しめるようなインテリアにも力を入れているそうです。

「ただカントリー家具を買うだけでなく、身のまわりの住空間を自分好みにするお手伝いをさせていただいております。例えば、引き出しの取手ひとつでも約50種類以上もの商品を取り揃えています。さらに、愛犬の似顔絵を描くことができるようないろんな体験教室を開いています。お客様にとって単なる家具屋ではなく、特別な体験や住空間を提供できるお店でありたいですね」

お客様に楽しんでもらえるお店づくりを心掛けられている池田さん。そんな池田さんの夢は何でしょうか。

「現在、カントリー家具をはじめ雑貨やエクステリアの商品、キッチンや建具まで、住空間に関しては、なんでも揃えます。そのため、遠方から



アメリカ色の強いカントリー家具

来られる方や一日中いらっしゃる方もいます。ゆくゆくは大川の事業所とコラボして、衣・食・住のもの、すべてが揃うカントリーワールドにできるような取り組みを行いたいと思っています。

また、私も大川で生まれ育ち、風浪宮が遊び場でした。せっかく近くで商売をさせてもらっていますので、風浪宮で蚤の市を開催出来たらと考えています。これからもカントリー家具の良さや大川の魅力を発信し続けていきたいですね」